

JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
東京都渋谷区代々木2丁目2番6号
JR新宿ビル13F 〒151-8512
電話 03-3375-5740(代)
2020年4月20日 発行人 山口浩治 編集人 湯ノ目亜矢子
第709号 月1回発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

新入社員のみなさん

**入社
おめでとうございます**

**JR東労組と共に
働きやすい職場を
つくっていきましょう!!**

新入社員のみなさん、おめでとうございます。入社おめでとうございます。JR東労組と共に働きやすい職場をつくっていきましょう!!

このように、アンケートを通じて不安な点、問題点を明確にすることができました。まさに、現場の組合員の声から出発する大切さが、小山車両センター分会のアンケートの取り組みから学べることができました。混沌とした社会状況だからこそ、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、安全な職場をつくり出していきます!!

**仲間と共に、安全で安心できる
職場をつくり出そう!!**

新型コロナウイルスの感染防止対策を行い、安全な職場をつくり出していきます!!

新型コロナウイルスに 感染しない・させない! 全組合員の英知と行動で この難局を乗り越えよう!

新型コロナウイルスが世界各地で広まり、社会全体が混沌としています。日本全国に緊急事態宣言が拡大されましたが、「感染しない・させない」行動を、社会全体でつくり出していかなければなりません。そのような状況の中で、小山車両センター分会では、現実を正しく掴むために、全組合員対象に「新型コロナウイルスに関するアンケート」を取り組み、組合員の不安や意見を大事にし、漠然とした職場の問題を明確にすることができました。

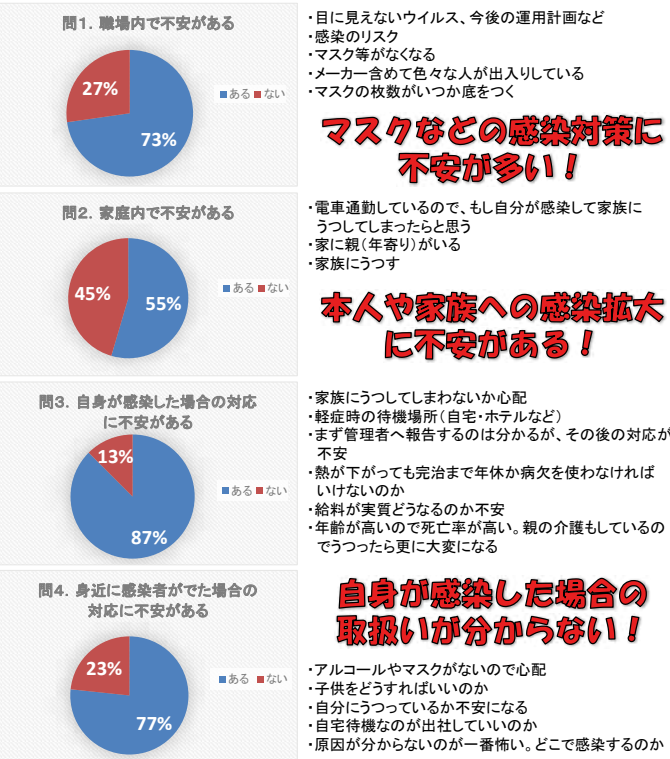
今後新生JR東労組運動宣言に基づき、組合員と共に職場から運動をつくり出していきましょう。そして、全組合員でこの難局を乗り越えていきましょう。

私たちの職場「小山車両センター」では、新型コロナウイルス感染拡大という誰も経験したことのない状況により、組合員は不安を抱えていました。そのような中で、分会として安全衛生委員会の議論や、業務部連報などの新型コロナウイルスに関する情報を活用して、分会掲示板を見やすくし、タイムリーに情報発信していくことに力を注ぎました。

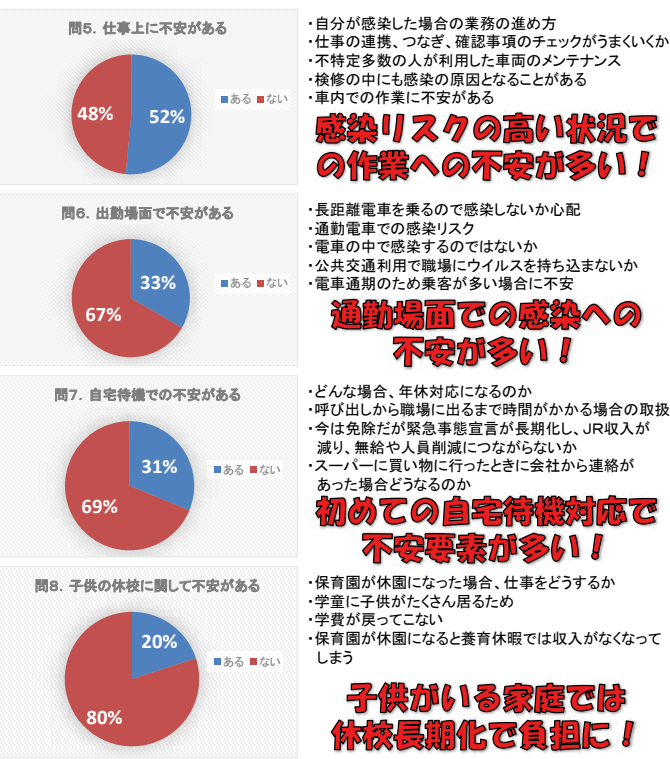
しかし、組合員が具体的に何を感じているのかを掴まないと、的外れな情報や方針を出してしまうのではないかとという結論に至りました。

ウイルスに関する情報などを活用して、分会掲示板を見やすくし、タイムリーに情報発信していくことに力を注ぎました。

コロナウイルスに関するアンケート (その1)



コロナウイルスに関するアンケート (その2)



仲間と共に不安の解消をめざし、鉄道と命を守り抜こう!!
小山車両センター分会の取り組み



新型コロナウイルスの影響が拡大する中、「アベノマスク」の配布が始まった。その一方で、手作りマスクが話題になっている。▼材料も不足している中で、生地は古着、ゴム部分には伝線したストッキングなど様々なものが代用できそう。このことは、資源の再利用にもつながり、まさに「生活の知恵」である。▼東日本大震災の時、被災地は水不足となり、ペットボトルを集めるために、普段お世話になっている箇所を仲間と共に駆けまわった。すると、町の食堂のおばあちゃんから「段ボールにポリ袋を入れ、水を入れればポリタンクの代わりになる」というアドバイスをもらい、大量の水を被災された方に送り届けて喜んでいただいた。▼便利な世の中だからこそ立ち止まり、知恵を働かせて工夫することが重要ではないか。利他の心を大事にし、新型コロナウイルスの危険性を正しく理解すべきである。目に見えないからこそ、手洗い、うがい、マスク着用など、できる限りの対処法を意識して行い、「自分だけ良ければ」などと決して思わず、仲間と共に乗り越えていくしかない。

(R・S)